



思いをこめて、あしたをつくる  
Passion in Creating Tomorrow

株主の皆様へ

# 第98期中間のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT **GOALS**



太平洋互業株式会社

証券コード：7250

# 株主の皆様へ



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第98期中間期（第2四半期連結累計期間：2021年4月1日～2021年9月30日）における営業の概況についてご報告申し上げます。

2021年11月

代表取締役社長

小川信也

## 当中間期の概況

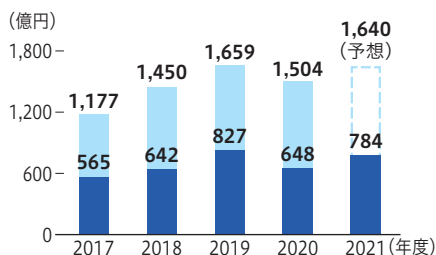
当第2四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。欧米ではワクチン接種が進み、新規感染者数が減少、外出規制が解かれる国・地域がある一方、アジアではインド、インドネシア等で感染が拡大しました。日本においては、規制の緩和による人流の増加で新規感染者数が増えた後、再規制やワクチン接種等の対策

により減少しましたが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

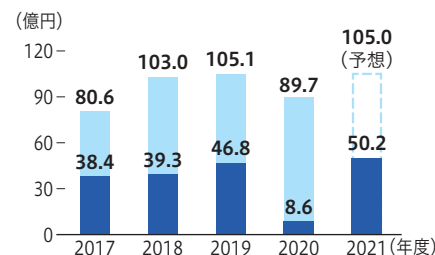
当社グループの主要事業分野である自動車関連業界は、半導体をはじめとした部材の調達リスクが一部で顕在化しています。主要顧客の自動車生産は、コロナ禍により減産した前年同期と比べ、大幅な増産となりました。しかし8月中旬以降、東南アジアにおける新型コロナウ

## 連結中間業績ハイライト

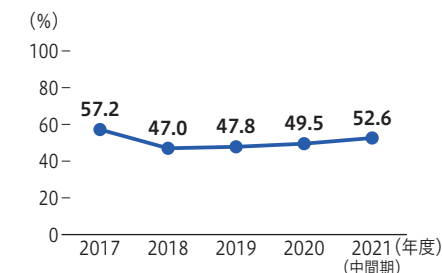
### 売上高



### 営業利益



### 自己資本比率



※2018年度中間期は、暫定的な会計処理の確定による見直し後の数値であります。

イルスの拡大・外出規制等の影響を受け、グローバルで部品が不足したことから、大幅な減産となりました。

このような中、当社グループは「感染防止・生産体制維持を第一義に、GLOCALで足元固めをする」方針を継続し、従業員の感染防止、受注変動に合わせた生産調整、部材の確保等を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、784億22百万円(前年同期比21.0%増)となりました。利益面では、前年度の固定費削減活動により利益が出やすい体質になったところに、売上増による利益増や原価改善が相乗効果となり、営業利益50億24百万円(前年同期比482.6%増)、経常利益57億97百万円(前年同期比341.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益43億81百万円(前年同期比364.9%増)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は13億70百万円減少しております。

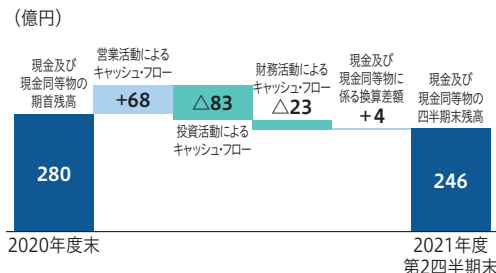
株主の皆様への利益還元につきましては、当中間配当金は当初発表の通り1株につき16円を実施、期末配当金は1株につき17円を予定し、年間で33円とさせていただきます。

## 今後の見通し

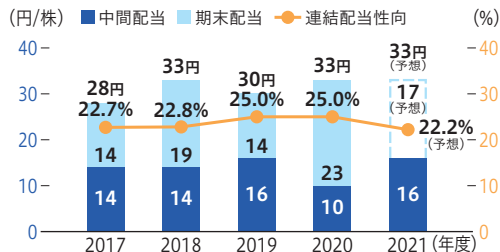
自動車業界は100年に一度の大変革期にあり、SDGsの取り組みの拡大、カーボンニュートラルへの動きの加速など、激動の時代に入っています。そうしたなか、当社は脱炭素などサステナビリティ経営の取り組みを強化しており、その一環で「PACIFIC環境チャレンジ2050」で掲げた2030年のCO<sub>2</sub>排出量削減目標(スコープ1、2)を、当初の35%から50%へと変更しました。11月には、カーボンニュートラルを見据えたグローバルマザー工場として、中長期で事業競争力を強化するための新工場(東大垣工場隣接地)の建設に着手いたしました。そのほか、軽量化や電動車向け製品など、当社の事業を通じた役割も一段と増しており、これを機会ととらえ、ライフサイクルでカーボンニュートラルの取り組みを強化しています。

今後も、事業を縦系、サステナビリティを横系に織りなし、ブランドスローガンにもあるように、持続可能な「あした」に向けて「思い」をもって取り組んでいきます。引き続き、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様におかれましては、当社グループへのご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

## キャッシュ・フローの状況



## 配当金の推移/連結配当性向



決算情報の詳細は、  
Webサイトをご覧ください。

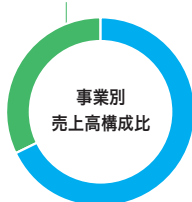


トップ > IR・投資家情報 >  
IRライブラリー > 決算説明会資料  
<https://www.pacific-ind.co.jp/investor/ir/briefings/>

### 事業別概況

バルブ製品事業

32.0%

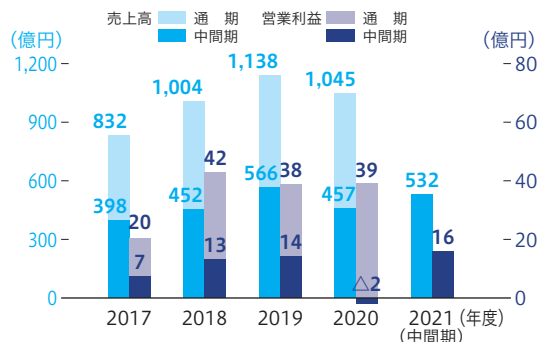


プレス・樹脂製品事業

67.9%

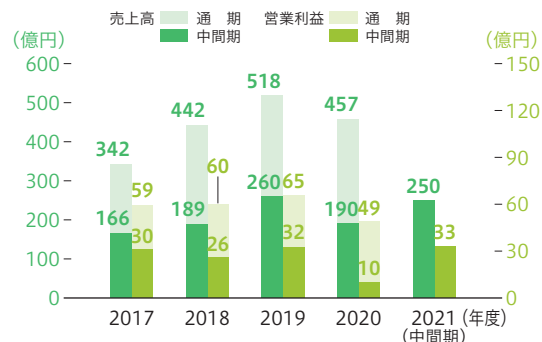
プレス・樹脂製品事業は、顧客の生産が全般的に好調で、売上高は532億33百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益は原価改善の効果も加わり、16億73百万円(前年同期は営業損失2億32百万円)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は14億44百万円減少しています。

#### ■プレス・樹脂製品事業 売上高・営業利益



バルブ製品事業も、顧客の生産が全般的に好調で、売上高は250億64百万円(前年同期比31.5%増)となりました。営業利益は原価改善の効果も加わり、33億71百万円(前年同期比212.2%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は73百万円増加しています。

#### ■バルブ製品事業 売上高・営業利益



### 地域別概況

アジア

19.4%



欧米

38.0%

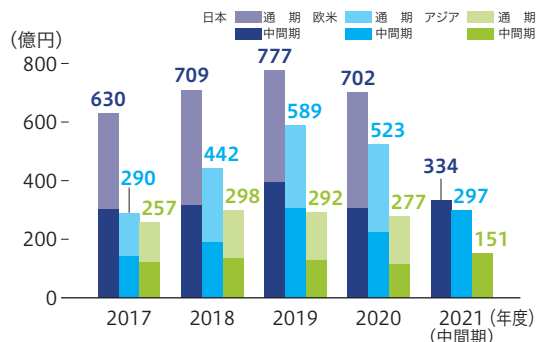
日本

42.6%

日本：主要顧客の自動車生産は、東南アジアにおけるコロナ拡大で部品が不足し、9月には一時的に減産しましたが、総じて堅調に推移し増収。売上増による利益増や原価改善により、営業利益は大幅な増益となりました。

欧米：主要顧客の自動車生産は、日本と同様に、

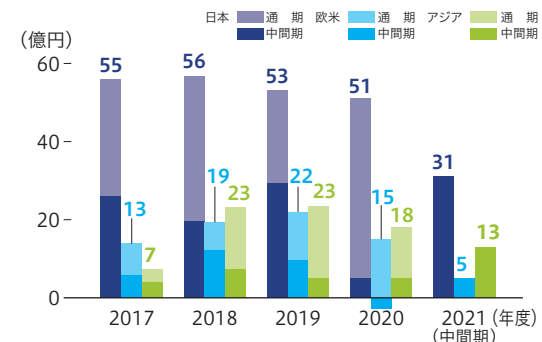
#### ■地域別売上高



総じて堅調に推移し、売上高増加。利益面では、売上増による利益増や原価改善により、黒字転換しました。

アジア：主要顧客の自動車生産は、総じて堅調に推移し、増収。利益面では、売上増による利益増や原価改善により、営業利益は増益となりました。

#### ■地域別営業利益





国内外でお客様や地域社会から表彰いただきました。(2021年4月～9月にいただいた主な表彰)

中国TPA

广汽豊田汽車  
2020年度广汽トヨタ納入品質改善活動  
キラキラ品質人賞

天津港保税区工委  
工会委员会  
工人模範賞



天津港保税区管理委员会  
トップ100企業

中国PTC

常熟経済技術開発区  
2020年度安全管理先進企業賞



タイPIT

Toyota Motor Thailand  
トヨタ3Pillar活動  
PTW&PTR両工場モデルラインプロダクション認定

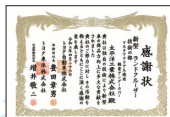
AIR SYSTEMS(THAILAND)  
Best Delivery Award 2020

太平洋工業

トヨタ自動車  
プロジェクト表彰  
(マルチマテリアル適用  
軽量アンダーカバー)

トヨタ自動車九州 九愛会  
品質優良賞

日産自動車  
優良品質 感謝状



台湾PVT

国瑞汽車  
原価改善優良賞・SSA推進優良賞



米国PMO

Toyota Motor North America  
Excellent VA Achievement Award

American Honda Motor  
Supplier performance Award

Subaru of Indiana Automotive  
SIA Excellent Performance Award



米国SPU

General Motors  
2020 Supplier Quality Excellence Award



新素材GFRPが新型ランドクルーザーに採用されました。

約14年ぶりのフルモデルチェンジとなる新型ランドクルーザーに、GFRP※による大幅な軽量化を達成したマルチマテリアル軽量アンダーカバーが採用され、トヨタ自動車およびトヨタ車体からプロジェクト表彰を受賞しました。



日刊工業新聞社  
【超モノづくり部品大賞】  
モビリティ関連  
部品賞受賞!

マルチマテリアル軽量アンダーカバー

GFRP/GMT※/鉄という3種類の材料を適材適所で使い分け、従来比5.62kg(76%)減という大幅な軽量化を達成。GFRPを使用したエンジンアンダーカバーはSUV系車両で世界初です。

※GMT(Glass-Mat reinforced Thermoplastics): ガラス繊維マットで強化した、強度と成形性のバランスに優れた樹脂材料

その他多数の当社製品  
が搭載されています。

エンジンカバー



センターキャップ



※GFRP(Glass Fiber Reinforced Plastics): 編み込んだ連続ガラス繊維に樹脂を含浸して作られる軽量・高強度の物性が特徴で、軽量化への貢献が期待される材料



## LCA<sup>※</sup>でカーボンニュートラルに貢献

当社グループは、CO<sub>2</sub>排出量削減のため、生産時の省エネや再生可能エネルギー導入に加え、顧客や仕入先との協力や、軽量化など製品使用時のCO<sub>2</sub>削減に至るまで、仕入れ・生産から使用・廃棄(ライフサイクル)を見据えた取り組みを進めています。

※LCA(ライフサイクルアセスメント)…材料調達から、生産、使用、廃棄まで各段階の環境負荷を考える事。



### モビリティのバリューチェーン

#### モビリティのサプライチェーン

#### 部品調達

#### 車両生産



#### 生産時のCO<sub>2</sub>削減

#### 2030年CO<sub>2</sub>排出量目標

35% → 50%<sup>へ</sup>

2019年度比(スコープ1、2)

今年4月の政府による2030年46%削減目標表明に続き、8月に世界の科学者らが発表した報告書でも気候変動の影響の加速が伝えられました。今後世界的に脱炭素が進むと考えられるためにも、当社は、2030年の目標を35%から50%に引き上げました。CO<sub>2</sub>削減も品質やコスト削減のひとつとらえ、改善を進めていきます。

#### エネルギー転換

年間  
約**1,680t**  
のCO<sub>2</sub>削減

ボイラー燃料の重油から都市ガスへの転換、電力受電の特別高圧化等でCO<sub>2</sub>を大幅削減しています。



#### 生産技術

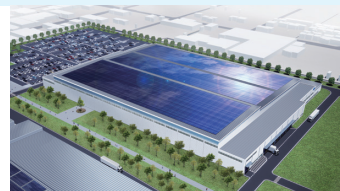
年間  
約**320t**  
のCO<sub>2</sub>削減

カチオン電着塗装設備のコンパクト化による省エネを実施しました。



#### 東大垣工場に新工場を建設

カーボンニュートラルを見据えたグローバルマザー工場として、省エネ設備や再生可能エネルギーを導入します。



## サステナビリティレポート2021の発行

<https://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/>

当社グループのサステナビリティ経営の進捗をまとめた、サステナビリティレポート2021を発行しました。トップ対談では、日本の環境金融の第一人者である日本政策投資銀行設備投資研究所の竹ヶ原啓介氏に、気候変動への取り組みをはじめとしたサステナビリティ経営の在り方について、貴重なご示唆を多くいただきました。是非ご一読ください！



## 販売



販売店  
中古車買取・販売店

## 使用



エンド  
ユーザー

## 廃棄



リサイクル  
会社

リサイクルしやすい  
製品も開発！

製品使用時のCO<sub>2</sub>削減

## 製品を通したカーボンニュートラルへの貢献

## 軽量化

車体軽量化は、走行時の燃費向上につながり、CO<sub>2</sub>削減に貢献できます。軽量化技術を高め、高強度と軽量化を両立させる超ハイテンのプレス製品の製造に加え、アルミニウムやGFRPなど多彩な材料を加工する技術を培い、軽量化に貢献しています。



冷間プレス工法で作られた1470MPaの超ハイテン製品

## 電動車向け製品

電動車向け製品の開発も加速しています。樹脂製品では、防音・防振ニーズに対し、新素材の開発、工法開発・製品設計を推進。バルブ製品では、新型MIRAIに、安全性を高める水素燃料向けリリーフバルブが採用。そのほか、カーエアコンを省エネ化するヒートポンプ・システム用の電動膨張弁などの開発も進めています。

※BEV…電気自動車、FCEV…燃料電池車



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
単 元 株 式 数	100株
証 券 コ ー ド	7250
公 告 の 方 法	当社のWebサイトに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="https://www.pacific-ind.co.jp/koukoku/">https://www.pacific-ind.co.jp/koukoku/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、中部経済新聞および日本 経済新聞に公告いたします。)

## 会社の概要

社 名	太平洋工業株式会社 Pacific Industrial Co., Ltd.
本 社 所 在 地	〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町100番地 TEL 0584-91-1111(大代表)
設 立	1930年8月8日
資 本 金	7,316百万円
事 業 内 容	自動車部品、電子機器製品等の製造 ならびに販売

 **太平洋工業株式会社**

〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町100番地  
TEL 0584-91-1111 (大代表) FAX 0584-92-1804

## 当社Webサイトのご案内



# www.pacific-ind.co.jp

当社のWebサイトでは、企業情報、IR・投資家情報、サステナビリティ情報などさまざまな情報を掲載しております。



発行日：2021年11月24日

この印刷物は適切に管理された森林からの原料を含むFSC®  
認証紙および植物油インクを使用しています。